



通知項目

この付録では、会議通知に追加できるタグのリストについて説明します。これらのタグの使用方法については、[第7章「テキストベースの会議通知のカスタマイズ」](#)を参照してください。

Outlook でスケジュールされた会議に関する通知のタグは、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing または MeetingTime でスケジュールされた会議に関する通知で同じ機能を実行するタグと似ていますが、同一ではありません。これらのタグには互換性がないため、.rtf テンプレートから .tpl テンプレートにタグをコピーして貼り付けることはできません。

特に指定がない限り、これらのタグは、会議のスケジュール担当者が会議のスケジューリングで追加した情報から値を取得するか、または会議がスケジュールされたときに自動的に生成されます。

指定がある場合は、タグは MeetingTime に入力された値から情報を取得します。これらのタグのいずれかを使用する場合は、MeetingTime の適切な場所に有効な値を入力していることを確認してください。MeetingTime およびその値の詳細については、Cisco Unified MeetingPlace Audio Server Release 5.3 のマニュアルを参照してください。



(注)

テンプレートにタグを追加する前に、そのタグの説明で示されている要件がすべて満たされていることを確認してください。

表 A-1 通知項目

名前	Cisco Unified MeetingPlace for Outlook でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.rtf ファイル)	Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing または MeetingTime でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.tpl ファイル)	説明
このタグには、ラベルは設定されません。	—	<!--#LATD AttendMeetingHint -->	[How to Attend Meeting] に MeetingTime で入力したテキストを挿入します。
Scheduler:	<!--#Cisco FirstName --> <!--#Cisco LastName -->	<!--#LATD SchedulerFirstName --> <!--#LATD SchedulerLastName -->	MeetingTime のスケジュール担当者のプロファイルから、スケジュール担当者の氏名を挿入します。

表 A-1 通知項目 (続き)

名前	Cisco Unified MeetingPlace for Outlook でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.rtf ファイル)	Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing または MeetingTime でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.tpl ファイル)	説明
Scheduler Phone:	<!--#Cisco OutdialPhone -->	<!--#LATD SchedulerTelephoneNum -->	MeetingTime のスケジュール担当者のプロファイルから、スケジュール担当者の電話番号を挿入します。
Scheduler Fax:	<!--#Cisco FaxNum -->	<!--#LATD SchedulerFaxNum -->	MeetingTime のスケジュール担当者のプロファイルから、スケジュール担当者のファックス番号を挿入します。
Scheduler E-mail:	<!--#Cisco C_SchedEmailAdd -->	<!--#LATD SchedulerEmail -->	MeetingTime のスケジュール担当者のプロファイルから、スケジュール担当者の電子メールアドレスを挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	—	<!--#LATD MultiServerHelpText <i>This meeting will be held on the following Cisco Unified MeetingPlace systems.</i> Dial the phone number of the system closest to your location. -->	MultiServerHelpText に MeetingTime で入力したテキストを挿入します。このタグに推奨されるテキストをイタリック体で示しています。 このタグは、マルチサーバ会議の通知だけに表示されます。このタグは ListMultiServers タグ (次に記載) と併用されます。
このタグには、ラベルは設定されません。	—	<!--#LATD ListMultiServers -->	マルチサーバ会議に関連する他の Cisco Unified MeetingPlace Audio Server の名前および電話番号を挿入します。このタグは、 MultiServerHelpText タグの後ろに続ける必要があります。
Number of ports	<!--#Cisco nLoc -->	<!--#LATD nLoc -->	会議のオーディオ ポートの数を挿入します。
Cisco Unified MeetingPlace Phone Number	<!--#Cisco Mtg_TelephoneNum -->	<!--#LATD Mtg_TelephoneNum -->	[Main phone number] で MeetingTime に入力した会議アクセスのメイン電話番号を挿入します。

表 A-1 通知項目 (続き)

名前	Cisco Unified MeetingPlace for Outlook でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.rtf ファイル)	Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing または MeetingTime でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.tpl ファイル)	説明
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco C_AltPhoneNumName1 --> <!--#Cisco C_AlternatePhoneNum1 -->	<!--#LATD AltPhoneLabel_1--> <!--#LATD AltPhone_1-->	最初の [Label for Notifications] に MeetingTime で入力したテキストを挿入し、[1st Alternate Ph Number] に任意の電話番号を挿入します。 ラベルが電話番号を示します (「Toll-free phone number」または「Internal callers dial:」など)。 使用可能な電話番号が実際にシステムに割り当てられている場合に限り、これらのタグを使用します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco C_AltPhoneNumName2 --> <!--#Cisco C_AlternatePhoneNum2 -->	<!--#LATD AltPhoneLabel_2--> <!--#LATD AltPhone_2-->	最初の [Label for Notifications] に MeetingTime で入力したテキストを挿入し、[2nd Alternate Ph Number] に任意の電話番号を挿入します。 ラベルが電話番号を示します (「Toll-free phone number」または「Internal callers dial:」など)。 使用可能な電話番号が実際にシステムに割り当てられている場合に限り、これらのタグを使用します。
このタグには、ラベルは設定されません。	<!--#Cisco C_AltPhoneNumName3 --> <!--#Cisco C_AlternatePhoneNum3 -->	<!--#LATD AltPhoneLabel_3--> <!--#LATD AltPhone_3-->	最初の [Label for Notifications] に MeetingTime で入力したテキストを挿入し、[3rd Alternate Ph Number] に任意の電話番号を挿入します。 ラベルが電話番号を示します (「Toll-free phone number」または「Internal callers dial:」など)。 使用可能な電話番号が実際にシステムに割り当てられている場合に限り、これらのタグを使用します。
Meeting ID:	<!--#Cisco MTGID -->	<!--#LATD MTGID -->	会議 ID を挿入します。
Meeting Date: ¹	<!--#Cisco Month --> <!--#Cisco Day -->, <!--#Cisco Year -->	<!--#LATD Month --> <!--#LATD Day -->, <!--#LATD Year -->	会議の日付を挿入します。

表 A-1 通知項目 (続き)

名前	Cisco Unified MeetingPlace for Outlook でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.rtf ファイル)	Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing または MeetingTime でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.tpl ファイル)	説明
Start Time (hh:mm) ¹	<!--#Cisco Hour -->: <!--#Cisco Min --> <!--#Cisco AMPM --> <!--#Cisco TimeZone -->	<!--#LATD Hour -->: <!--#LATD Min --> <!--#LATD AMPM --> <!--#LATD TimeZone -->	会議の開始時刻を挿入します。
Frequency	—	<!--#LATD ReOccuringConference -->	会議の頻度 (毎週、毎月など) および開催数を挿入します。
Recurrence Pattern	<!--#Cisco ReOccuringConference -->	—	会議の頻度 (毎週、毎月など) を挿入します。
Occurrences	<!--#Cisco MaxDaysReOccuring -->	—	会議の開催数を挿入します。
Meeting Name:	<!--#Cisco TextName -->	<!--#LATD TextName -->	会議名を挿入します。
Meeting Length (min):	<!--#Cisco Len -->	<!--#LATD Len -->	会議の所要時間を挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。 ²	[Internal CTA]	<!--#LATD AttendConference -->	参加 (Click-to-Attend) リンク (会議の参加者がクリックして会議に参加できる URL) を挿入します。 これらのタグは、Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing を必要とします。 これらのタグは、ConfigClient ユーティリティの [Notification Options] タブにある [Web Host Name] フィールドと [External Web Host Name] フィールドから情報を取得します。詳細については、P.3-9 の「[Notification Options] タブ」を参照してください。
Meeting Password:	<!--#Cisco C_Password -->	<!--#LATD C_Password -->	会議パスワードを挿入します (割り当てられている場合)。
Allow Internet Access:	<!--#Cisco C_AllowInternetAccess-->	<!--#LATD C_AllowInternetAccess-->	会議のスケジュール担当者が、ファイアウォールの外側のユーザに対して会議への参加を許可したかどうかを示す情報を挿入します。
Meeting Description:	<!--#Cisco AttList_MeetingDesc -->	<!--#LATD AttList_MeetingDesc -->	会議のスケジュール担当者が [Meeting Description] ボックスに入力したテキストをすべて挿入します。
Meeting Participants:	—	<!--#LATD ListInvitees -->	会議に招待されている参加者のリストを挿入します。

表 A-1 通知項目 (続き)

名前	Cisco Unified MeetingPlace for Outlook でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.rtf ファイル)	Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing または MeetingTime でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.tpl ファイル)	説明
Who can attend meeting:	<!--#Cisco EntryRestriction -->	<!--#LATD EntryRestriction -->	会議に参加できるユーザ (全員、Cisco Unified MeetingPlace ユーザ、または招待ユーザ) を挿入します。
Screened Introduction:	<!--#Cisco fScreenedIntroduction -->	<!--#LATD fScreenedIntroduction -->	会議に参加しようとしているユーザの入席が、すでに会議に参加しているユーザによって選別されるかどうかを示す情報を挿入します。
Default Ability:	<!--#Cisco DefaultAbility -->	<!--#LATD DefaultAbility -->	ディスカッション形式の会議か講義形式の会議かを示す情報を挿入します。
MeetingNotes:	—	<!--#LATD MeetingNotesHint -->	MeetingTime の How to Access MeetingNotes パラメータのすべてのテキストを挿入します。
Record Conference:	<!--#Cisco fRecordConference -->	<!--#LATD fRecordConference -->	会議が記録されるようにスケジュールされているかどうかを示す情報を挿入します。
Who can access the recording:	<!--#Cisco WhoCanListen -->	<!--#LATD WhoCanListen -->	会議の記録にアクセスできるユーザ (なし、全員、Cisco Unified MeetingPlace ユーザ、または招待ユーザ) を挿入します。
このタグには、ラベルは設定されません。	—	<!--#LATD ReschedReason -->	新しい日付、時刻、または添付など、事前にスケジュールされた会議に関する変更内容を説明するテキストを挿入します。
Previous meeting month: ²	—	<!--#LATD MonthPrev -->	前回の会議の月を挿入します。
Previous meeting day: ²	—	<!--#LATD DayPrev -->	前回の会議の日を挿入します。
Previous meeting year: ²	—	<!--#LATD YearPrev -->	前回の会議の年を挿入します。
Previous meeting hour: ²	—	<!--#LATD HourPrev -->	前回の会議の時刻 (時間) を挿入します。
Previous meeting minute: ²	—	<!--#LATD MinPrev -->	前回の会議の時刻 (分) を挿入します。
Previous meeting time of day: ²	—	<!--#LATD AMPMPPrev -->	前回の会議の時刻 (午前 / 午後) を挿入します。
Recurring meeting change: ²	—	<!--#LATD AllOrOne -->	一連の定例会議の 1 つまたはすべての機能が変更またはキャンセルされたかどうかを示す情報を挿入します。

表 A-1 通知項目 (続き)

名前	Cisco Unified MeetingPlace for Outlook でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.rtf ファイル)	Cisco Unified MeetingPlace Web Conferencing または MeetingTime でスケジュールされた会議に関する通知のタグ (.tpl ファイル)	説明
Video conferencing phone number for callers dialing in using IP -based video endpoints	<!--#Cisco VideoServiceCode--><!--#Cisco MTGID -->	<!--#LATD MCUServiceCode --><!--#LATD MTGID -->	<p>[Meeting ID] に加え、[Video Service Code] で MeetingTime に入力した番号を挿入します。</p> <p>表示される両方のタグは、指定した順序になっている必要があります。</p> <p>これは、ビデオ会議に参加する際に IP ベースのビデオ エンドポイントへの入力が必要な番号です。</p> <p>システムに Cisco Unified MeetingPlace Video Integration がある場合に限り、これらのタグを使用します。</p> <p>この番号の説明およびビデオ会議への参加方法に関するテキストで、これらのタグを優先する必要があります。</p>
Video conferencing phone number for callers dialing in using ISDN-based video endpoints	<!--#Cisco VideoTelephoneNum --> + <!--#Cisco VideoServiceCode--><!--#Cisco MTGID -->	<!--#LATD VideoPhoneMain --> + <!--#LATD MCUServiceCode--><!--#LATD MTGID -->	<p>[Video Service Code] およびスケジュールされた会議の会議 ID に加えて、[Main video ph number] で MeetingTime に入力した電話番号を挿入します。</p> <p>表示されるタグはすべて、指定した順序になっている必要があります。</p> <p>これは、ダイヤルインしてビデオ会議に参加する際にビデオ エンドポイントへの入力が必要な番号です。</p> <p>Cisco Unified MeetingPlace システムにビデオ会議があり、システムがビデオ会議への参加に ISDN ビデオ エンドポイントを許可するよう設定されている場合に限り、このタグを使用します。</p> <p>この番号の説明およびビデオ会議への参加方法に関するテキストで、これらのタグを優先する必要があります。</p>

1. このタグは、mpMsgRsvl.rtf テンプレートファイルに追加しないでください。
2. このタグは、MPmessage.rtf テンプレートファイルに追加しないでください。